大敵と言文修好のもつ伝受来世まで為ならん
つきと云たるは京都仏の云く関府父子の出馬を
京都行ゝ先生と申知るべきはなしたる南京の人
数十二して七八名白川へ先生と京へ帰りしを
出に出られ白川表へ出るし武士たちを知る
へきう御神ゝとなりれい知れ
八京先年伊意に宵き浪人とあらひもやうく
こむきたれい他国の士をあへきは京第に
をかむりて文子たに伊勢作りは内大義は通ゝ
孫は武京の知恵行ゝ子息出はは先生とせ
一足と去ゝた実ゝ小於ていたく見れは白川の
大勝ゝ出ゝ一方へ出ゝ三ゝ第ノ西と
しゝに京都に機嫌よけは出て三方の
武家智孫は於ていたれは書へきと移移
ゝ去ゝ京都仏い 古文流仏の菩提寺
雲洞庵乃昆沙門堂こゝ家老和主拙院其外
数百人の浪士と百集て京都仏出こゝ
ゝ京内府と歌れ防禦とめゝ先生と文
私の京都は知ゝ去年伊地陸石田治部小罪
を云ゝけて逼塞ゝ今文京小雑歌ゝけ